



インスピレーション
になろう

四つのテスト

The Four-Way Test

言行はこれに照らしてから

Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
Is it the TRUTH?
2. みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

WEEKLY REPORT

No.2934 2018年8月27日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

菊池眞一郎会長
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 司会 川崎 誠幹事

磯崎 孝会員
 常盤 昌敬会員
 根本 隆会員
 根本 博会員
 遊座 文郎会員

(コメントは省略)

★ ビジター紹介

菊池眞一郎会長
 水戸西RC 高橋賢吾 第2820地区ガバナー
 水戸西RC 植木英明 第2820地区副幹事
 大子RC 櫻山実保子 第2分区ガバナー補佐
 大子RC 福田智昭 会長エレクト
 大子RC 柳下清一 副会長

★ ガバナー挨拶

第2820地区 高橋賢吾ガバナー



★ 出席報告

会 員 数	25名
出 席 者	13名
欠 席 者	11名
出 席 免 除	1名
メーキャップ	2名
出 席 率	65.6%

★ 委員会報告

ニコニコボックス委員会

岡田 勝委員長
 第2820地区 高橋 賢吾ガバナー
 大子 RC 福田 智昭様
 大子 RC 柳下 清一様
 菊池眞一郎会長
 川崎 誠幹事
 鹿志村吉信会員
 安達 良司会員

皆さんこんにちは。ただいま紹介を頂きました2820地区本年度ガバナーの高橋賢吾と申します。今日是一日よろしくお願ひしたいと思います。

先程菊池会長が点鐘して頂いた鐘、来年で日本のロータリーが100年を迎えます。その記念の鐘と申します。創立100年をPRしようと、この鐘を作成して各クラブの会長さんに点鐘して頂いています。ここに台には地区55クラブ全部の名前が入っております。3番目に那珂湊RCと入っております。来年65年ということですので歴史と伝統です。

入って来てびっくりしました、この旗。触っちゃいけないんですか？素晴らしいですね。初めて見ました。本当に先輩方が築いてこられた歴史がここに凝縮されているという感じです。非常に感激をいたしております。

さて、ロータリークラブというのは、ここ4～5年大きく変わってきています。昔のロータリーが良いとか悪いとかはなくて、これからのロータリーというのはずっと変わっていきます。

今、何が求められているかといいますと、一番先に「会員増強」です。会員増強をどのクラブにも真剣に取り組みましょうという運動がおきています。なぜか、20年前、日本のロータリークラブの会員というのは13万人いました。それがずっと減り続けていまして今何名だと思いますか？8万6千名です。3割減です。こういった悲惨な状況です。今やっと気がついて下がり続けていた会員数がようやく現状維持になりました。これから努力して会員数をちょっとずつ上げていかなければならないのが大きな課題です。それでは2820地区はどうなのかといいますと、やはり20年前は2900人の会員がいました。今は何名でしょう？1995人です。これも3割減です。だから皆さん一緒に頑張って、会員増強しましょうという運動が、優先事項で考えております。

加えて公共イメージの向上という問題があります。昔、私達ロータリアンは「社会奉仕活動をやってもこれを対外的に自慢するな、心の中に秘めておけ」という時代が長くありました。我々は素晴らしい奉仕活動をしてきているのだから、地域の人と一緒に活動しましょう、もっとPRをしていきましょうというのが公共イメージの向上、これが第2番目の大きな問題になっています。

新たなR I会長の言葉を紹介したいと思います。「私達ロータリアンは、何をしているのか。ロータリーがどんな団体なのかを地域社会の人達に知らしめて下さい。」今年1年間、少しでも地域の人達と一緒に奉仕活動をしてロータリーの存在を知らしめて下さい、というのが今のR I会長の思いです。これは今、ロータリーの公共イメージの向上、それから後で説明しますが、ロータリーデー、ロータリーファミリーに拡大していこうというのが一つの流れです。これが2つ目です。

それでは3つ目。中長期計画の策定です。ロータリーはずっと単年度でやってきています。それでは全然進歩がない。それを取り除こうと、クラブで中長期の計画を策定して下さい。今年の会長さんが中長期計画を立てる、次年度の会長さんに引き継ぐ。そしてその次の会長さんにも引き継ぐ。これはクラブの重点事項です。計画を策定して5年後、このクラブがどのような形が理想なのか、こういった形を望んでいるのか、を打ち出してクラブ全体で計画を進めていく。これがクラブの中長期計画、ロータリーでは「戦略計画」といっています。この3つの柱が今のロータリーに必要ということ。これをご理解頂きたいと思います。

さて話は変わりますが、私の趣味は山登りです。日本全国の山をほとんど登りました。山には日本百名山、有名な山が北海道から九州まであります。次は二百名山。そして三百名山。私はガバナー

やったら山登るなといわれています。ガバナーやる前に三百名山全部登って、それから海外の山にちょこっと、それからエレクトになったので山登りはストップしています。ガバナーが終わったらまた山登りを再開したいと思っております。今日は湊公園の日和山というところに登って参りました。非常に景色の良い山で菊池会長有り難うございました。「月信」というのがあります。そこに日本百名山、私の登った山を紹介していますので表紙の写真、後ろにコメントが載っております。本年度の第一号(7月号)の表紙、茨城県の百名山、筑波山の写真です。百名山の中で一番低い山です。裏にコメントも書いてございます。後で読んでいただけたと思います。8月は甲斐駒ヶ岳、この山が一番好きな山です。ちなみにまだ出ておりませんが、9月号は利尻富士(北海道)が出ますので楽しみにして頂きたいと思っております。

それでは本年度のR Iテーマと地区方針ということで皆さんとお話しを進めていきたいと思えます。皆さんご存じだと思います。ライズリー前会長のテーマ「ロータリーに変化をもたらす」、皆さん一年間、合い言葉になっていると思うのですが、ロータリはどんどん変化をしていかなければならない、そのきっかけを作った人です。今日よりも明日、今年よりも来年とロータリーを進化させていかなければならない、ロータリーも考え方もプロジェクトも変えていかなければならない、それが彼の持論でありまして一年間このテーマで来ました。そして今年はラシン会長です。彼のテーマは「インスピレーションになろう」。私達は去年、変化をしていきたいと思いますというのを合い言葉にやってきました。変化をどうやったらいいのかという話になり、私達が持っている素晴らしいインスピレーションを發揮してどんどん変革をしていきたいと思いますという彼の表現、テーマとなっていると思えます。さてインスピレーションというのは辞書を開きますと「ひらめき・感化・意気込み」というものが出て来ます。そしてロータリアンは感化を与える人、そして意欲を引き出す人になろう、と訴えています。ロータリアン一人ひとりが、変化の推進者になって下さい。地元社会で、またロータリー活動で変化の推進役を務めて下さいということが最終的にこの「インスピレーションになろう」という目標になっていくと思えます。是非、私達今年一年間、変化をするための推進者となって活動していきましょうということをご理解いただければと思います。

そして最終的には「ポリオ撲滅」、「環境問題の取り組み」に力を入れて行きます。ポリオというのは日本人にはなじみが少ない、国内でもポリオというのは関心のない方がすごく多いのですが、国際ロータリー全体で考えるとこれは最重要事項です。兎に角一にも二にもポリオ撲滅、という話です。ロータリ財団の予算の40%をポリオ撲滅につき込んでいる。撲滅はもうちょっとなのですが、まだなくならない、いつまで続くのか、これは無くなるまでだと。なぜかという私達が世界の人に約束した事項だからです。世界の人達にロータリアンはポリオ撲滅を最後までやり続けると約束している、だから最後までやらなければならない。

それと環境問題。私達はプロジェクトを沢山やっていますが、今年から環境問題をクラブの活動の中に取り組みたいというのが出て参りました。これがR Iの流れです。

さてR Iの特徴。R Iの目標とか計画とか沢山ありますが、これだけです。ロータリークラブのロータリー賞というのは今までありましたが、ローターアクター、インターアクトクラブのロータリー賞というのは今年から出来ました。この流れは何かと言いますと、私達ロータリアンは青少年の育成に力を入れるということです。だからローターアクトクラブ、インターアクトクラブのロータリー賞を新しく作りました。青少年の育成に力を入れようというのでロータリー賞が追加されたということです。

次にロータリーデーの実施、先程触れましたが、「ロータリアン、インターアクター、ローターアクターが地元市民や若い世代、そして他団体と一緒にロータリーデーを開催したら世界にどれだけの影響力を持つか想像してみてください。大胆な発想、インスピレーションでロータリーをアピールしましょう」ということです。このロータリーデーとはこのクラブの奉仕活動、これをもうちょっと地元市民や若い世代、そして他の団体と一緒に活動するような発想で実施出来ませんかということです。そしてもっとロータリーの存在をPRして下さいということです。これがロータリーデーで今日も会長・幹事さんにお話ししまして、今年予定している奉仕活動をロータリーデーと称してやって頂きたい、また分区内でやって頂くのも大いに結構ということです。後の協議会でガバナー補佐からお話を伺いたいと思いますが、ロータリーデーを開催してロータリーをPRする場を増やしていくのが今年の特徴であります。

これからは地区方針となります。

「地域社会との共栄」先程申し上げたロータリーとか地元市民とか地元の行政とか地元の若い人とかと一緒に色々なことをやっていき、それでロータリーファミリー、身近にいるローターアクター、インターアクターを巻き込んで、ロータリーファミリーを拡大していきましょう。そしてロータリーデーの開催、私達の特徴である奉仕の心と力で活力ある魅力的な地域社会を作り出しましょう、私は作り出したいと思っています。

そういったことから今年の地区方針を「ロータリーの心と力を地域社会へ」と設定いたしました。この大きな3つのテーマから地区のスローガンに結びついているということ、是非ご理解頂きたいと思っています。

この流れで地区としていきたいと思っておりますので、クラブも是非認識を新たに頂き、今年1年の活動をして頂きたいと思っております。具体的に地区では何をやるかという話になると思います。

戦略計画＝中長期計画を策定して頂きたいと思っております。これはクラブでも必要ですし、地区でも必要です。今まで地区でも中長期計画は持ちませんでした。ガバナーが変わる度に方針・目的が全部変わってしまいました。目標・計画が達成しようがしまいが関係ない。問題点はずっと残ったまま。これを改めようということです。今年地区の戦



略委員会を編成いたしました。会員増強・公共イメージの向上・IT化・青少年の育成・奉仕プロジェクト。現在、地区の会員は1995名です。それを私の年度の最後には2000名にする、そして5年後には2100名にしようという目標を立てています。

IT化の問題、今、ホームページは新しくなっています。会員向けのホームページ、一般の方々向けのホームページを作りました。まだご覧になっていない方、是非ご覧下さい。

青少年の育成、先程ローターアクト、インターアクト、青少年交換いろいろあります。これらも計画を立て目標を作って進んでいきたいと思いません。奉仕プロジェクトも然りです。

次にクラブサポート。クラブの柔軟性、クラブの柔軟性というのはクラブが自分達の考え方を大いにクラブの運営に反映出来るように変わってきている。例えば例会を4回から3回にする。極端な話、月に最低2回で良い。月1回は例会必ずやりましょう、後の1回は奉仕活動でもかまいません。そこまで自由になりました。例会の時間も自由に変えることが出来る。夜でも朝やっても良い。会員が集まりやすいように自由に時間も変えて良くなりました。これらを採用するかしないかはクラブの問題、また成功するかしないかも同様です。ただこういった裁量権が認められましたのでそれらを大いに使って下さいということです。

My Rotaryの活用。次の協議会ではMy Rotaryの話もさせて頂こうと思っておりますが、非常に大きな情報源になっております。今これからの主流になって来ています。ロータリーの情報というのはこれから、今までの「ロータリーの友」とかありますが、もう数年するとだんだんと無くなっていく、みんなMyRotaryからの伝達となると思います。また私達の事業をMyRotaryに入れて反応が返ってくる、この様になると思います。そしてロータリー賞へのチャレンジです。

次に地区の具体的な施策Part 2。

公共イメージの向上。先程来説明してましたロータリーデーを開催しましょう。ホームページを更新しましょう。

ソーシャルネットワークの活用、R Iでは全てのソーシャルネットワークを駆使してロータリーの情報を発信しなさい、クラブに合ったクラブにふさわしいSNSを使ってクラブの情報を伝達して下さい。ここのクラブは週報は印刷して配っています。すでに週報の無いクラブもあります。どうやってやっているといますか？ Lineです。Lineで例会の前に週報を発信する。これを見て当日会員が来るのです。事業をやればすぐにフェイスブッ

クに掲載する。ソーシャルネットワークを活用してどんどん内部にも外部にも発信していく。今のツールを利用しない手はありません。ツールを利用して公共イメージの向上を図って下さい。

奉仕プロジェクト。地区補助金・プログラム補助金、こういったものを活用してさらにワンランク上の奉仕活動・奉仕プロジェクトを展開して頂きたいというのが奉仕プロジェクトの推進です。

青少年の育成。インターアクターがローターアクターになる。ローターアクターがロータリアンになる。そういったシステムを作る。インターアクターとういうのは高校生です。このクラブはインターアクター提唱していませんね。ちょっと認識の無い方もいると思いますが、県内では6つのインターアクトクラブがありまして、それを提唱しています。ではインターアクター、高校を卒業するとロータリーとさよならになってしまう。ですからインターアクターが、ローターアクターになるようにシステムを今構築中です。ローターアクター、これは18歳から30歳までです。30歳を越えるとまたロータリーとさよならになってしまう。ローターアクタークラブに私達多大な資金をつぎ込んで育成しているのですが、30過ぎるとロータリーとさよなら。これはあまりにも青少年という私達が育てた財産を全て失っていると思います。これじゃまずいのではないかということでローターアクターがロータリアンになるシステムが作っていきましょうというのが青少年育成の一環、今作っているのがローターアクター学友、LYRA学友、ローテックス、こういった学友を作ってロータリーと関わり合った青少年がその期間が終わったら学友を作ってそこでロータリーと密接な関係を持つ、といったシステムを作っていくということです。そしてこの人達が、クラブの奉仕活動を一緒にやりましょう、地区の奉仕活動を一緒にやりましょうということです。学友連携の強化推進によるロータリーファミリー、私達が育てた青少年をいつもロータリアンと行動出来るような状態にして、少しずつロータリーファミリーを広げて行きましょうというのがロータリーファミリーの構想というものです。青少年育成の3つの項目、今地区は非常に力を入れている、ということをご理解頂きたいと思います。

これで私の説明は大体終わりです。もう一回元に戻って説明しますと、あまりにも今のロータリーの方向性に対して関心の無いクラブが多すぎる。もうちょっと関心を持ちましょう。今ロータリーがどのような方向に行っているのですか。今私達ロータリアンについては何が必要なのか、を皆さんでもう一度考えましょうと問いかけたい。そのために先程からの会員増強、公共イメージの向上、戦力

計画＝中長期的計画を立てて目標をしっかりとクラブとして方向性を明確にして会員全員で力を合わせて活性化を図っていくことを私は皆さんにお伝えしたいと思って参りました。これが私の公式訪問での那珂湊クラブの皆さんに中身であります。今は8月の後半になります、あと10ヶ月、年度は始まったばかりであります。是非今のR Iの方針、地区の方針をご理解頂きまして会長さんを中心にクラブの活性化をし、1年間活動をされることを心よりお願い致しまして私の話とさせていただきます。

あと余談ですが、本日、ガバナー専用車ということでR Iのテーマとか地区の方針とかポリオ撲滅とかのステッカーを貼った車でやって参りました。今、藤屋ホテルさんの駐車場に止めてありますので、是非ご覧になって頂きたいと思います。今後この車で県内55カ所のクラブを回ります。また本日、皆さんにプレゼントがございます。ロータリーのステッカーですが、車の後ろにでも貼っていただければと思ひまして2000枚作成しました。県内2000枚のステッカーを貼った車が走ったら、それは一つのインパクトになるのではなかろうかと思ひます。強制はいたしませんので賛同頂ける方はこのステッカー、貼って頂いてロータリーのPRご協力いただければと思ひます。これを会長さんにプレゼントして私の話全て終了とさせていただきます。ありがとうございます。

櫻山実保子第2分区ガバナー補佐

皆様こんにちは。今日で那珂湊ロータリーの例会に3回、出席させていただいております。先ほどガバナーからお話がありました様に公共イメージの向上としてロータリーデーを分区内でも開催したいという思いもありますし、個々のクラブがロータリーデーを持って下さることを願っておりますので、今回お持ちした「のぼり」を各クラブ3枚ずつプレゼントさせていただきますのでどうぞ活用下さい。



2018 19年度地区テーマ
ロータリーの心と力を地域社会へ
第2820地区ガバナー 高橋賢吾

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」